

## 増山博行先生退職記念事業趣意書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、山口大学大学院理工学研究科教授増山博行先生におかれましては、平成二十四年三月三十一日をもちまして山口大学をご退職されることとなりました。

増山博行先生は、昭和四十五年三月に九州大学理学部物理学科を御卒業になり、昭和五十年三月に京都大学大学院理学研究科博士課程を修了後、山口大学文学部に助手として着任されました。その後、昭和五十三年四月の改組により理学部物理学科の担当となられ、同年十月に理学部助教に、平成四年四月に理学部教授となりました。平成七年四月改組により理学部自然情報科学科物理学講座、平成十八年四月の改組により大学院理工学研究科自然科学基盤系学域の所属となられ、学部としては理学部物理・情報科学科を担当され、通算三十七年にわたる大学教員生活を通じて多くの学生を育成されました。

研究面におきましては、誘電体結晶における構造と相転移に関して、二次相転移に関与するモードやそれが不安定化する機構の解明、相転移の臨界現象、長周期変調構造を持つ物質の結晶構造解析、不整合・整合相転移に関わるメゾスコピックなパターン形成・リコンストラクティブな一次相転移の機構解明、半微視的モデルを用いた理論的解釈など広範囲な分野にわたり多くの業績を残されました。これらの研究活動を通じて博士学位論文の指導をはじめ、大学・高等専門学校や公的研究機関、並びに民間企業の研究開発部門等で活躍する多彩な人材を輩出し、これらの分野における研究の発展ならびに後進の研究者の育成にも尽力されました。

学外におきましては、日本物理学会、日本結晶学会、日本放射光学会、日本中性子科学会、日本天文学会における学会活動のほか、日本物理学会領域一〇代表、日本物理学会代議員、日本物理学会一九九六年秋の分科会実行委員会委員などを歴任し学会運営にも大きく貢献されました。さらに、高等学校や市民を対象とした科学教育・放射線教育・環境教育にも力を注がれ、公開講座などを通じた次世代の育成・指導ならびに生涯学習指導などの地域社会貢献活動にも尽力されました。

こうした研究・教育・地域における活動とともに、学内では山口大学機器分析センターの設置に貢献されるとともに同センター長（平成十年四月から平成十三年三月）として大型分析機器共同利用を通じた教育研究体制の構築と運営に尽力されました。さらに、教育研究評議会評議員、理学部長（平成十五年四月から平成二十年三月）等の役職を歴任され、永年にわたり山口大学ならびに山口大学理学部の各種組織の管理・運営・発展にも多大なる貢献をなされました。

このたび、増山博行先生のご退職にあたり、これまでの長年にわたるご貢献とご功績に対して心より敬意と謝意を表すとともに、今後の益々のご健康とご活躍をお祈りしたく、別紙の通り退職記念事業を計画いたしました。つきましてはこの趣旨にご賛同いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

平成二十四年二月吉日

### 増山博行先生退職記念事業会

発起人 笠野裕修（代表）

笠谷祐史 國重敦弘 越地尚宏

武貞正樹 重松宏武 畔津忠博

河村幸彦 三好烈麗

増山博行先生退職記念事業

一、退職記念講演会

題目：「誘電体の構造と相転移 ―山口大学での三十七年―」

日時：平成二十四年四月二十九日（日） 午後二時より三時まで（受付一時三十分から）

場所：ホテルかめ福

山口県山口市湯田温泉四―五 電話〇八三―九二二―七〇〇〇

二、退職記念祝賀会

日時：平成二十四年四月二十九日（日） 午後三時より五時まで（受付二時四十五分から）

場所：ホテルかめ福

山口県山口市湯田温泉四―五 電話〇八三―九二二―七〇〇〇

三、記念品贈呈

○連絡先

〒七五三―八五一三 山口県山口市吉田一六七七一

山口大学教育学部 内 増山博行先生退職記念事業会事務局

重松 宏武

電話／FAX 〇八三―九三三―五三四三

電子メール shigena@yamaguchi-u.ac.jp